

明治二十年三月改定

英吉利法律學校規則

完

東京神田區錦町二丁目二番地
英吉利法律學校

本年度則チ明治二十年四月ヨリ
本校へ毎年五千圓宛司法省ヨリ
下賜セラレ候

明治二十年五月

英吉利法律學校

明治二十年正月

英吉利法律学校規則

不願之レ刻

本校へ於て正午圓成同書皆

本手製限々開部二十年四月

創立旨趣

方今未英米法律ノ長所タル法律實地應用ノ道ニ通ス
 ル者甚尠ナシ是蓋講師ノ數全キヲ得テ其全科ヲ教フ
 ル所ナキト其蘊奧ヲ極ムルニ足レル書籍ナク又法律
 書庫ノ設ナキトニ由ラスンハアラス而シテ世間往々
 英米法律ヲ教授スルノ校舎ナキニアラスト雖モ或ハ
 佛國ノ法律ヲ兼修セシメ或ハ專ラ英米法ヲ攻究スル
 モ專一ノ力ヲ其全體ニ及ホシ以テ實地應用ノ素ヲ養
 フモノ未曾テ之アルヲ見ス是レ常ニ英米法學者ノ慨
 嘆スル所ナリ余輩茲ニ見ル所アリ數多ノ英米法學者
 相集マリテ英米法律ノ全科ヲ教授シ其書籍ヲ著述シ

創立旨趣

一

其法律書庫ヲ設立スルノ目的ヲ以テ本校ヲ設置ス
明治十八年七月ニ其全額ニ英吉利法律學校
其校今般特ニ帝國大學總長ノ監督ニ屬セラル旨文
部大臣ヨリ被相達候條此旨心得ヘシ
但文部大臣ヨリ帝國大學ニ達セラレタル私立法
學校特別監督條規一部ヲ交附ス
明治十九年十二月二日 東京府知事高崎五六

私立法律學校特別監督條規

○私立法律學校特別監督條規

文部省ニ於テハ今回私立法律學校特別監督條規ヲ設ケ乃東京府下ニ在ル專修學校、
明治法律學校、東京專門學校、東京法學校、英吉利法律學校、ノ五校ハ帝國大學總長ヲシ
テ特ニ之ヲ監督セシムルコトトセリ其條規左ノ如シ (文部省報告)

私立法律學校特別監督條規

第一條 文部大臣ハ東京府下ニ於テ適當ナリト認ムル私立法律學校ヲ擇ヒ特ニ帝國
大學總長ヲシテ之ヲ監督セシムルコトアルヘシ
但本文ノ學校ト雖尙一般私立學校ノ例ニ依リ地方官ノ管理ヲ受クヘキハ勿論タ
ルヘシ

第二條 帝國大學總長ノ監督ニ屬スヘキ私立法律學校ハ必要ノ普通學科ヲ修メタル
者ヲシテ入學セシメ三年以上ノ課程ヲ以テ左ノ三科ノ一ヲ教授スルモノタルヘシ
但各科ニ掲クル法律中帝國ニ於テ既ニ制定頒布アリタルモノハ主トシテ之ヲ教
授シ外國法ハ傍ラ之ヲ對照スヘキモノトス

佛蘭西法律科

第一年 法學通論 民法(人事篇) 私權、身分證書 住所、失踪、婚姻、離婚、父タル
コト養子、父權、幼者、後見、丁年者、禁治產、裁判上ノ補佐人、同(財產篇) 財產區
別所有權、收實權、地役、刑罰法 第二年 民法 時効、契約、賣買、交換、質、附托、偶
生契約、代理、和解、會社、訴訟法 第三年 民法 保證、質、書入質、先取
權、相續、贈遺、遺囑、婚姻、財產、契約、商法

○擬律擬判 獨逸法律科

第一年 法學通論○民法人權○同物權○刑法
 第二年 民法、契約、親族、財產、相續○商法○裁判所構成法○治罪法
 第三年 訴訟法○海上法○爲替法○保險法○破產法○擬律擬判

英吉利法律科

第一年 法學通論○契約法○私犯法○代理法○刑法
 第二年 親族法○組合會社法○動產委託、賣買法○財產法○治罪法
 第三年 破產法○證據法○保險法○訴訟法○流通證書○商船法○擬律擬判

第三條 帝國大學總長監督ニ屬スル私立法律學校ノ爲メニ帝國大學總長ハ法科大學職員ノ中ヨリ委員ヲ撰定シ常時及試験ノ時ニ於テ該學校ヲ臨監セシムルモノトス
 第四條 該私立法律學校校主ハ毎月三日迄ニ其月ノ課業時間割表ヲ帝國大學へ差出ヘキモノトス

第五條 該私立法律學校ニ於テ定期試験ヲ行フトキハ少クトモ三日以前ニ校主ヨリ其科目及時間割表ヲ帝國大學へ差出スヘキモノトス

第六條 該私立法律學校ニ於テハ每定期試験第二週間内ニ其成績表ヲ製シ校主ヨリ帝國大學へ差出スヘキモノトス

第七條 該私立法律學校ノ卒業生ニシテ帝國大學總長ニ於テ優等ナリト認メタル者ハ法科大學ニ於テ司法官吏立合ノ上更ニ試問ヲ爲スコトアルヘシ此場合ニ於テ試験及第ノ者ニハ及第證書ヲ交付ス

第八條 帝國大學總長ハ委員ノ報告ニ因リ該私立法律學校主ニ學科課程及教授等ノ改正ヲ諭告スルコトアルヘシ

英吉利法律學校規則目錄

第一章	總則	一
第二章	學年、學期、休業	六
第三章	學生及校友	八
第四章	入學、在學、退學	九
第五章	證書	一三
第六章	學期及學年試驗	一四
第七章	校外生規則及ヒ附則	一七
第一款	講義錄	同
第二款	校外生入學在學規則	一八
第三款	校外生質問規則及ヒ附則	二一
第八章	書庫規則	二三

第一款	閱覽室規則	二三
第二款	圖書携出規則	二六
第三款	第二科教科書貸與規則	二七
○		
	校外生月謝納付手續	二八
	教場心得	二九
	事務章程	三〇
	講師姓名	三三
	事務員姓名	三五
	卒業生姓名	三六

英吉利法律學校規則

第一章 總則

第一條 目的

本校ハ帝國法律ノ實地應用ヲ練習セシムルヲ目的トシ本邦制定ノ法律ヲ教授スルノ外廣シク法理ニ通達スル爲メ邦語又ハ原書ヲ以テ英吉利法律學ヲ講究スルモノトス

第二條 學科

本校ノ課程ヲ分チテ第一科第二科トス第一科ハ邦語ヲ以テ法律ヲ教授シ第二科ハ英米ノ原書ヲ以テ法律ヲ教授ス

第三條 課目

第一科ノ課目左ノ如シ

○第一學年

- | | | |
|---------|-------|-------|
| 一 法學通論 | 一 契約法 | 一 私犯法 |
| 一 親族法 | 一 刑法 | 一 代理法 |
| 一 動產委託法 | 一 組合法 | |
| 一 英語學 | | |

前期

一習字

電信局出版
習字書

一綴字

鈴木重陽著
スペラー

一素讀

ウイルソン氏
アラソイマー

一綴字

一譯讀

ウイルソン氏
第一讀本
第二讀本

後期

一習字

電信局出版
習字書

一綴字

ウエブスター氏
スペルリングブック

一素讀

サンダー氏
第三讀本
ハーレー氏
萬國史

一文法

スウ井ントン氏
小文法書

參考科

一英吉利刑法

一論理學

○第二學年

一賣買法

一動產法

一不動產法

一會社法

一流通證書法

一證據法

一判決例

一訴訟法

一商船法

一英語學

一擬律擬判

前期

一書取

スマイルス氏
自助論

一作文

一素讀

スウ井ントン氏
萬國史

一譯讀

スウ井ントン氏
萬國史

後期

一書取

スウ井ントン氏
萬國史

一作文

一素讀

スウ井ントン氏
萬國史

一譯讀

フオーセツト氏
小經濟書

參考科

一財產法

一米國法律

一訴訟演習

○第三學年

- 一 保險法
- 一 破産法
- 一 訴訟法
- 一 羅馬法
- 一 衡平法
- 一 法理學
- 一 擬律擬判
- 一 國際公法
- 一 國際私法
- 一 英語學
- 一 判決例
- 一 沿革分析

前期

- 一 作文
- マコーレー氏
- ヘスチングス氏

- 一 素讀
- ギヅィ氏
- 明文
- 明史

- 一 譯讀
- ミル代議政体

後期

- 一 素讀
- ブラクストン氏
- 小英法註釋

- 一 譯讀
- テリィ氏
- 法律原論

參考科

- 一 憲法
- 一 行政法
- 一 財產法
- 一 動産差押法
- 一 訴訟演習
- 一 米國法律

第二科ノ科目左ノ如シ

○第一學年

- 一 テリィ氏
- 一 アンソン氏
- 一 アンダーヒル氏
- 一 ケント氏
- 一 契約法
- 一 私犯法
- 一 親族法
- 一 ストリィ氏
- 一 代理法
- 一 ボロツク氏
- 一 ストリィ氏
- 一 刑法
- 一 組合法
- 一 動産委託法

參考科

- 一 ハリス氏
- 一 英國刑法
- 一 セボン氏
- 一 論理學
- 一 第二學年
- 一 ウィリアム氏
- 一 財產法
- 一 グリーンリッフ氏
- 一 ベンジャミン氏
- 一 買賣法
- 一 證據法
- 一 ケント氏
- 一 會社法
- 一 パイル氏
- 一 商船法
- 一 スミス氏
- 一 流通證書法
- 一 擬律擬判

參考科

- 一 訴訟演習
- 一 判決例
- 一 治罪法
- 一 擬律擬判

○第三學年

一 財產法
一 破産法
一 保險法

一 スネル氏 衡平法
一 スミス氏 訴訟法

一 法理法
一 マーケット氏 法理原論
一 メイン氏 法律沿革論

一 ハンター氏小ノ分
一 ホール氏 國際公法
一 ウエストレーキ氏 國際私法

一 羅馬法
一 國際公法

參考科
一 憲法
一 行政法
一 訴訟演習

第二章 學年學期休業

第四條 修業年限

第一科第二科共修業年限ヲ三年トス

第五條 學年

九月十一日ヨリ翌年七月十日マテヲ一學年トス

第六條 學期

一 學年ヲ分チテ二學期トス左ノ如シ

自九月十一日 第一學期

至翌年二月十日 第二學期

自二月十一日 第二學期

至七月十日 第二學期

本校休業日左ノ如シ

自七月十一日至九月十日

自十二月二十六日至翌年一月六日

日曜日及大祭日

第三章 學生及校友

第八條 學生ノ等級

學生ノ等級ハ學年ノ數ニ準シテ第一年級第二年級第三年級ノ三級ニ分ツ

第九條 學生ノ區別

第一科ニ入學スル者ヲ分チ校內生校外生トス

第二科ニハ校外生ヲ置カス

第十條 校內生、校外生

本校ニ通學シテ講義ヲ聽聞スルモノヲ校內生トシ本校ニ通學セスシテ本校出版ノ講義録ニ依リ脩業スル者ヲ校外生トス但校外生規則ハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 員外生

必用ノ普通學科ヲ脩メタル證ヲ有スルモノニシテ臨時入學スル者ハ之ヲ員外生ト稱シ第一年級講義ヲ聽聞スルコトヲ得

第十二條 員外生受驗

員外生ハ何時ニテモ入學スルコトヲ得ルト雖モ入學試驗ノ際入學試

驗ヲ受ケ且正員ト同ク試驗ヲ受ケ及第シタル者ニアラサレハ正員トシ第二年級ニ編入セス

但本條ニ從ヒ正員トナリタル者ノ序次ハ其一年間ハ從來ノ正員ノ後ニ置ク者トス

第十三條 校內生ノ特權

校內生ハ本校ノ書庫ニ備付クル圖書ヲ閱覽シ本校出版ノ講義録並ニ英文法律書ヲ實價ニテ買受ルコトヲ得

第十四條 校友ノ特權

就學證書又ハ卒業證書ヲ有スル者ハ本校々友トナシ常ニ本校ニ出入シテ講師ニ就キ學問上ノ質疑ヲ爲シ若シハ本校書庫ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第四章 入學、在學、退學

第十五條 入學

本校ニ入學セント欲スル者ハ左ノ條件ヲ具フルコトヲ要ス

一 年齢十八歳以上ノ男子タル者
 二 入學試験ニ合格スル事
 三 必用ノ普通學科ヲ修メタルコト
 二年級以上へ入學セントスル者ハ前條件ノ外ニ前級科目ノ試験ヲ受
 シルコトヲ要ス

但入學試験課目ハ其都度之ヲ廣告ス

第十六條 入學期

定期入學ハ毎年七月九月ノ兩度トス

但試験期日ハ其都度之ヲ公告ス

第十七條 入學申込證

入學セント欲スル者ハ本校ヨリ定式ノ入學申込證ヲ受取リ指定ノ記
 入ヲ爲シテ試験期日マテニ本校教務掛へ差出ス可シ

入學申込證雛形

入學申込證

拙者儀御校(第一科)第(三二二)年級へ入學仕度就テハ御試験ノ上御許
 可相成度候也

明治 年 月 日

宿所

族籍

姓

年 名

年 齡

英吉利法律學校御中

第十八條 在學證

入學ノ許可ヲ受ケタルモノハ本校ヨリ定式ノ在學證ヲ受取リ之ニ指
 定ノ記入ヲ爲シ保證人ト連署シテ本校教務掛ニ差出ス可シ

在學證雛形

校内生在學證

拙者儀此度貴校第(三二二)年級へ入學被差許候上ハ在校中御規則堅ク
 相守リ可申候仍テ證書如此候也

明治 年 月 日

宿所

族籍

姓

年 名

年 齡

前文(何某)在校中一切ノ事件ハ拙者引受可申候仍テ保證如此候也

宿所 族籍

保證人 姓 名 ①

英吉利法律學校御中

第十九條 束修

第一科又ハ第二科校内生ニ入學スル者ハ束修金一圓ヲ納ムヘシ
但校外生ヨリ校内生ニ移ル者ハ束修ヲ要セス

第二十條 月謝

月謝ハ第一科第二科共ニ金壹圓トス

第二十一條 退學

退學セント欲スル者ハ保證人連署ノ證書ヲ以テ其旨本校教務掛ヘ届
出ツ可シ

二ヶ月以上無斷缺席スル者ハ退學者ト看做シ學籍ヨリ削除スヘシ

第二十二條 缺席

缺席一ヶ月以上ニ及フト雖モ豫メ其旨届出テサル者ハ出席者ト看做

シ月謝金ヲ徴収スヘシ

第五章 證書

第二十三條 就學證書

學年平均點數ニ合格點數以上ヲ得タル者ハ其學年ノ就學證書ヲ授與
ス

就學證書雛形

何某本校第(三)年級ノ
課程ヲ履ミ試業ヲ完フ
セリ茲ニ之ヲ證ス
(課目) (受持講師姓名連印)
(全) (全)
年月日
英吉利法律學校長(印)

第二十四條 卒業證書
三學年ノ就學證書ヲ得タル者ニハ卒業證書ヲ授與ス
卒業證書雛形

何本校ニ於テ法律學
全科ヲ修メ其業ヲ卒
仍テ卒業證書ヲ授與
爰ニ之ヲ證ス爾後永
本校々友タルノ特權
享有スヘシ
年 月 日
英吉利法律學校印

第六章 學期及學年試驗
第二十五條 學期試驗
各課目ニ付キ一學年ノ間ニ於テ少クトモ二回以上學期試驗ヲ施行ス
第二十六條 學年試驗
學年試驗ハ每年六月二十一日ヨリ施行ス

第二十七條 學期點數
一課目ニ付キ一學年ノ間ニ施シタル學期試驗ノ點數ヲ加ヘ其試驗ノ度
數ニテ其和ヲ除シテ得タル數ヲ以テ學期點數トス
第二十八條 學期平均點數
一學年ノ間ニ於ル各課目ノ學期點數ヲ加ヘ其課目ノ數ヲ以テ其和ヲ除
シテ得タル數ヲ學期平均點數トス
第二十九條 學年試驗點數
一課目ニ付キ一學年ノ終ニ施行スル試驗ノ點數ヲ學年試驗點數トス
第三十條 點數ノ價格
一課目ノ學期點數ヲ二トシ學年試驗點數ヲ一トス
第三十一條 學年點數
一學年ノ終ニ於テ學期點數ニ二ヲ乘シ之ニ學年試驗ノ點數ヲ加ヘ三
ヲ以テ其和ヲ除シテ得タル數ヲ以テ其課目ノ學年點數トス
第三十二條 學年平均點數
各課目ノ學年點數ヲ加ヘ課目ノ數ヲ以テ其和ヲ除シテ得タル數ヲ學
年平均點數トス

第三十三條 合格點數
六十點以上ヲ以テ合格點數トス

第三十四條 學期平均點數不合格

學期平均點數合格照ニ達セサル者ハ落第トス

第三十五條 及第落第
每學年ノ終ニ於テ左表ノ定規ニ據リ學生ノ及第落第ヲ定ム

諸課目平均點數	學年試驗ニ合格セサル課目ノ數	最下點	下最	及
六十以上	無			及
同上	一課目	五十以上		及 (學期點數) 五十以下ナレハ落
同上	一課目	五十以下		落 (學期點數) 六十以上ナレハ及
同上	二課目	五十以上		落 (一科目ノ學期點數) 六十以上ナレハ及
同上	二課目	四十以上 五十以下	五十以上	落 (二科目共ニ學期點數) 六十以上ナレハ及

同上 上 二課目 五十以下 落

同上 上 三課目以上 六十以下 落
(學期平均點數) 八十以上ナレハ及

六十以下 一課目以上 六十以下 落

第三十六條 臨時試驗

己ムヲ得サル事故ニテ學年試驗ニ缺席シタル者ニシテ學期平均點數六十點以上ヲ得タル者ハ次學年ニ至リ臨時試驗ヲ受クルコトヲ得

第三十七條 點數表

學期點數、學期平均點數、學年試驗點數、學年點數、學年平均點數、ハ每學年ノ終ニ其明細表ヲ作り之ヲ印刷ニ付シ各學生ノ保證人ニ配付ス

第七章 校外生規則

第一款 講義錄

第三十八條 通則

遠隔ノ地方ニ在リ又ハ業務ノ爲メ參校シテ親シク講義ヲ聽ク能ハサルモノ、便チ計リ校外生ノ制ヲ設ケ本校講師講義ノ筆記ヲ印刷シテ之ヲ頒ツ

第三十九條 種類

講義録ハ第一級講義録第二級講義録第三級講義録ノ三種トス但第三級講義録ハ明治二十年九月ヨリ之ヲ出版ス

第四十條 出版日

第一級講義録ハ毎土曜日ニ發兌シ第二級講義録ハ毎水曜日ニ之ヲ發兌ス

第四十一條 紙數

講義録ハ都テ一冊ノ紙數九十「ペーシ」ヲ限リトス

第四十二條 記載事件

講義録ハ講義ヲ記載スルノ外本校ノ記事及廣告類ヲ記載スルモノトス

第二款 校外生入學在學規則

第四十三條 通則

何人ニ限ラス本規則ニ從ヒ校外生タラント欲スルモノハ試験ヲ要セズ何時ニテモ入學ヲ許ス

第四十四條 教科及修業年限

教科及修業年限ハ校内生ニ準ス

第四十五條 講義録配付

校外生ニハ每週一回英吉利法律講義録ヲ配付スヘシ

第四十六條 證書

校外生ニシテ就學證書又ハ卒業證書ヲ受ケント欲スルモノハ望ニ依リ試験ノ上之ヲ授與スヘシ

第四十七條 入學手續

校外生タラント欲スルモノハ其氏名旅籍住所年齢ヲ記シタル入學證ニ東脩並ニ一ヶ月分月謝ヲ添ヘ申込ムヘシ

第四十八條 入學證

校外生入學證雛形 (用紙美濃紙)

印紙

校外生第 年級入學證
私義今般貴校へ入學御許可相成候上ハ在學中御規則堅ク相守可申
候仍テ證書如斯候也

年月日

宿所族籍

姓

年

名

印

齡

英吉利法律學校御中

第六十九條 束脩

校外生ハ束脩金五十錢ヲ納ムヘシ

第五十條 月謝

校外生ハ毎月翌月分ノ月謝金七十錢ヲ前納スヘシ

但前納セサルモノハ講義録ノ配付ヲ見合スヘシ

第五十一條 増金

將來印刷費遞送費等増加スルトキハ豫メ通知シテ相當ノ増金ヲ納メ
シムルコトアルヘシ

第五十二條 月謝金不返付

既ニ受領シタル月謝金ハ假令本人ノ都合ニヨリテ退學スト雖モ之ヲ
返付セス

第五十三條 住所通知

住所ヲ轉シ又ハ氏名ヲ改稱スル者ハ速ニ本校講義録掛へ通知スヘシ

第五十四條 月謝金遲滯

月謝金不納ニケ月以上ニ及フトキハ退校生ト看做スヘシ故ニ再ヒ送
本ヲ請フモノハ更ニ入學ノ手續ヲ爲サシムヘシ

第五十五條 月謝金送付手續

月謝金ヲ爲替トシテ送致スルモノハ東京神田區錦町二丁目二番地英
吉利法律學校會計岡山兼吉へ宛東京神田郵便局へ向ケ振込ムヘシ

第五十六條 同上

月謝金ハ郵便切手ヲ以テ納付スルコトヲ禁ス
通運會社ニ托シ貨幣ヲ送致スルモノハ配達料一錢ヲ添へ拂込ムヘシ

第三款 校外生質問規則

第五十七條 通則

本校々外生ハ講義録ニ登載スル諸課目ニ限リ疑問アルキハ通信ヲ以テ之ヲ質スコトヲ得但擬律擬判ノ問ハ一切答案ヲ付セサルモノトス

第五十八條 質問信書

質問信書ニハ講義録ノ號數(合本ニ爲シタルタメ號數ノ見)課目丁數(出シ難キトキハ此限ニアラス)ヲ示シ疑問ノ要點ヲ明瞭ニ記載スヘシ

第五十九條 答案

凡ソ質問ハ質問委員ニ於テ其難易ヲ判別シ主旨自ラ明瞭ナリト認ムルモノ若クハ質問通信ノ文意了解シ難キモノハ答案ヲ付セサルヘシ

第六十條 問答記載

質問及答案ハ時々講義録ノ紙尾ニ登錄スヘシ

第六十一條 質問信書名宛

質問信書ハ本校質問委員ニ宛テ郵送スヘシ

校外生附則

第一條

入校以前ノ講義録ヲ購求セント欲スルモノニシテ一ヶ月分以上ヲ購

讀スルモノハ一冊金拾錢宛ノ割ヲ以拂下クベシ

第二條

各級ヲ兼脩スルハ妨ケナシト雖モ各級毎ニ更ニ入學証書ヲ差出スベシ

但束脩ヲ要セス

第三條

爲換券ニテ月謝拂込ノ節ハ其證券落手次第講義録ハ發送スルモ月謝領收證ハ爲換金請取濟ノ上ニテ送付スルモノトス

第四條

講義録ハ期日ニ必ス發允スヘキニ付其到着スヘキ當日ヨリ起算シ一週間ニ及フモ尙到達セサルトキハ其旨本校講義録掛へ届出ツヘシ

第五條

校外生ノ本校ニ對スル書信ハ都テ何年級校外生ト記載スベシ

第八章 書庫規則

第一款 閱覽室規則

第六十二條 通則

本校書庫ニ貯藏スル原書和書譯書類ハ閱覽室内ニ於テ講師校友學生及事務員ノ閱覽ヲ許ス

第六十三條 通則

圖書掛並ニ講師ノ外書庫ニ入り圖書ヲ檢索シ若クハ之ヲ出納スルヲ許サス

第六十四條 月謝未納ノ學生

學生月謝未納ノ間ハ閱覽室ニ入ルコトヲ許サス

第六十五條 退職事務員

本校ノ職員滿二ケ年以上從職シタル者ハ退職後閱覽室ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ許ス

第六十六條 閱覽票

校友及退職事務員ニシテ本校閱覽室ノ圖書ヲ閱覽セント欲スルモノハ豫メ本校事務所ニ於テ閱覽票ヲ申受ケ入室ノ際之ヲ携持スヘシ

第六十七條 借受手續

凡テ閱覽者ハ圖書掛ヨリ定式ノ借覽證書ヲ受取り之ニ指定ノ記入ヲ爲シ差出スヘシ

第六十八條 借覽冊數

閱覽者ハ一時ニ三冊ヲ限リ借覽スルコトヲ許ス但講師ハ此限ニ非ス

第六十九條 書籍返納

閱覽室ヲ立出ツル時ハ必ス書籍ヲ返納ス可シ

第七十條 賠償

借覽ノ書籍ヲ紛失シ又ハ汚損スルトキハ相當ノ償金ヲ差出サシムヘシ

第七十一條 音讀等ノ禁

閱覽室内ニ於テ音讀雜誌喫煙スルコトヲ禁ス

第七十二條 罰則

此規則ヲ犯シタルモノハ事情ニ應ジ一ケ月以内ニ於テ閱覽室ニ入ルコトヲ禁ス

第七十三條 閱覽室ノ開閉

閱覽ノ開閉左ノ如シ
自九月十一日 午前七時三十分ニ開キ午後九時ニ閉ツ
自十一月一日 午前八時ニ開キ午後九時ニ閉ツ
至十二月廿九日

自一月五日	至四月十一日	自五月十一日	至七月十一日	自七月十一日	至九月十日
-------	--------	--------	--------	--------	-------

同上
 午前七時三十分ニ開キ午後九時ニ閉ツ
 午前七時三十分ニ開キ正午十二時ニ閉ツ

第二款 圖書携出規則

第七十四條 講師

講師ハ参考用ノ爲メ七冊ヲ限リ本校ノ圖書ヲ借受ケ自宅ニ携帯スルコトヲ得

第五十七條 借受手續

前條ニ於テ圖書ヲ携出セント欲スルモノハ圖書掛ニ就キ貸附簿ニ記名捺印シ幹事ノ檢印ヲ受クヘシ

第七十六條 借受制限

書庫ニ一冊限リ保存スル書籍ヲ携出スルモノハ可成速ニ返納スルコトヲ要ス

第七十七條 事務員携出

事務員ハ特ニ幹事ノ許可ヲ受クルニアラサレハ書庫ノ圖書ヲ携出スルコトヲ許サス

第七十八條 返納

凡テ携出シタル圖書ハ毎年七月一日ヨリ同十五日マテニ悉ク返納ス可シ若シ之ヲ返納セサル者ハ紛失者ト看做シ相當ノ代價ヲ徴收ス可シ

第三款 第二教科書貸與規則

第七十九條 教場携帶

第二科學生ハ受業ノ爲メ書籍ヲ借受ケ教場ニ携帶スルコトヲ許ス但受業了リシ後ハ圖書掛ニ返納ス可シ

第八十條 自宅携帶

第二科ノ教科書ハ本校蓄藏ノ多寡ニ依リ自宅ニ携帶スルコトヲ許ス事アル可シ但携帶ヲ望ム者ハ相當ノ保證金ヲ差出サシムル者トス

英吉利法律學校附則

校内生月謝納付手續

第一條

凡ソ月謝金ハ翌月分ヲ前月ノ末日迄ニ會計掛ヘ差出スヘシ

第二條

月謝金ヲ納付スル者ハ會計掛ヨリ金員ト引替ヘニ聽講券ヲ受取ルヘシ

第三條

既ニ納付シタル一ヶ月分ノ月謝ハ中途退學スルト雖モ之ヲ返付セズ

教場心得

第一條

教場ニ出席スル者ハ必ス聽講券ヲ携帯スヘシ聽講券ヲ持タサル者ハ

教務掛ヨリ退場ヲ命スヘシ

第二條

教場ニ於テハ專ラ靜肅ヲ旨トシ講師ニ恭順ナルヘシ

第三條

教場ニ於テ雜談スルコトヲ禁ス

第四條

教場ニ於テ喫煙スルコトヲ禁ス

第五條

凡ソ教場ノ器物ヲ汚損スル者ハ相當ノ償金ヲ差出サシム

事務章程

第一章 職員

第一條

英吉利法律學校ニ事務所ヲ設ケ左ノ職員ヲ置キ本校一切ノ事務ヲ取扱ハシム

一 校長 一人

校務ヲ總理ス

一 幹事 一人
旨ヲ校長ニ享ケ事務員ヲ指揮ス

一 會計掛 二人

本校金銭出納ニ關スル一切ノ事務ヲ處辨ス

一 教務掛 二人

本校學生ノ勤惰教務上ノ應對校外生ノ進退其他教務ニ關スル一切ノ事務ヲ處辨ス

一 講義錄掛 四人

講義錄ノ發送讓渡ヲ掌ル

英吉

六人

一 編輯掛 六人
講師ノ講義ヲ筆記シ講義錄編輯出版ノ事ヲ掌ル

一 圖書掛 一人

圖書ノ出納ヲ掌リ圖書ニ關スル一切ノ帳簿ヲ保管ス

一 校丁 若干名

校舎ノ洒掃其他ノ賤務ニ従事ス

第二章

第二條

職員ハ毎日午後一時ヨリ出勤シ午後六時ニ退出ス
但圖書掛ハ圖書規則ニ從ヒ閱覽室開場ノ前三十分ニ出勤シ閉場後三十分ニ退出スル者トス

第三條

宿直ハ午前七時ニ出勤シ翌日午前七時次宿直ノ者ト交代ス
 第四條
 宿直ハ其當番中事務所一切ノ事務ヲ代辨シ出務事間ニ至リ之ヲ各掛
 員ニ引渡スヘシ但其當番ノ所爲ハ自ラ其責ニ任スル者トス

明治二十年三月

英吉利法律學校規則畢

講師姓名

法學士	山田喜之助
法學士	土方
帝國大學助教授	奥田義人
法學士	岡山兼吉
法學士	菊池武夫
米國法律學士	松野貞一郎
法學士	元田肇
法學士	澁谷健爾
法學士	大谷木備一郎
法學士	高橋捨六
法學士	増島六一郎

法學士	藤田隆三郎
ばりすとの	高橋健三
法學士	岡村輝彦
法學士	伊藤悌治
法學士	馬場愿治
法學士	關直彦
米國法律學士	江木衷
米國法律學士	小村壽太郎
ばりすとの	金子堅太郎
文學士	東三條公恭
法科大學卒業生	坪井九馬三
	植村俊平

法科大學卒業生

博言學士	戸永寛人
米國法律學士	駒井重格
ばりすとの	工藤則勝
	三阪繁人
	中橋徳五郎
	イーストレーキ
	シドモール
	リッチフィールド
職員姓名	増島六一郎
校長	柏木斧彌
會計掛	富永綏言
全	

教務掛

森脇篤

全

橫井鐵太郎

講義錄掛

山田嘉生

全

前川孫六

全

秋山喜八郎

全

安藤悅藏

編輯掛

田中恒馬

全

山口正毅

全

畔上啓策

全

石山彌平

圖書掛

西川彌門太

明治十九年七月卒業生姓名

長崎縣士族

山口正毅

埼玉縣平民

石山彌平

長野縣平民

畔上啓策

廣島縣士族

古屋市之助

19960036